

順天堂医院ニュース 2026 NO.97

新任教授紹介

消化器内科

この度、2026年7月1日付で、順天堂大学大学院医学研究科 消化器内科学 教授を拝命いたしました。2004年に当院消化器内科に入局して以来、多くの先生方のご指導のもと、炎症性腸疾患の診療と研究に取り組んでまいりました。日々の診療において、既存治療では十分に応えきれない患者さんの課題に向き合うなか、米国留学では炎症性腸疾患における腸内細菌叢と免疫応答に関する基礎研究に従事し、腸内細菌を標的とした新たな治療法の可能性を強く意識するようになりました。



消化器内科
石川 大

2014年には、健康ドナー由来の腸内細菌を潰瘍性大腸炎患者さんへ大腸内視鏡で移植する腸内細菌叢移植（FMT）の臨床研究を国内で初めて開始しました。その後、2023年には本医療技術が先進医療Bとして承認され、昨年に臨床と基礎研究を両輪で推進する「腸内細菌療法リサーチセンター（Gut-Link Lab）」を設置いただきました。

今後も消化器内科において、炎症性腸疾患を中心とした消化管領域疾患の診療に力を注ぐとともに、臨床研究や治験に着実に取り組み、より多くの患者さんに貢献できるよう努めてまいります。また近年、がん領域や神経領域をはじめ、さまざまな疾患と腸内細菌との関連が明らかになりつつあります。学内の他診療科や研究部門と連携し、腸内細菌療法の研究・診療をさらに推進することで、新たな治療法としての確立を目指してまいります。順天堂大学の臨床・研究の強みを最大限に活かし、患者さんに新たな希望を届けられるよう、誠心誠意努めてまいります。消化器疾患ならびに腸内細菌に関連する診療・研究につきましては、どうぞお気軽にご相談ください。今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

順天堂医院HP【消化器内科】



このたび、2026年7月1日付で順天堂大学医学部呼吸器内科学講座主任教授を拝命いたしました。

当科は1969年、日本で初めて開設された、呼吸器内科を専門とする最も歴史ある教室です。これまでの伝統を受け継ぎ、患者さんに信頼していただける医療をお届けしていくことに、大きな責任を感じております。

私は2002年に山梨医科大学医学部を卒業し、2006年に順天堂大学呼吸器内科学講座に入局いたしました。静岡県立静岡がんセンターや米国オハイオ州立大学での研鑽も経て、肺がん、胸膜中皮腫、胸腺腫瘍などの胸部腫瘍の診療と研究に力を注いでまいりました。現在は、治療方法の改善につながる臨床研究や、患者さんお一人おひとりに合った治療法を見つけるための研究にも取り組んでおります。

当科では胸部腫瘍はもちろん、肺炎などの呼吸器感染症、間質性肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、肺高血圧症、睡眠時無呼吸症候群まで、呼吸器の病気を幅広く診療しております。また、肺リンパ管筋腫症（LAM）を含む、まれな疾患の診療にも力を入れております。

これからも患者さんお一人おひとりのお話にしっかりと耳を傾け、外科や放射線科などとも連携しながら、安心して受けていただける医療をお届けしてまいります。また、大学病院として専門性の高い医療を提供するとともに、新しい診断法や治療法を患者さんに届けられるよう、日々の診療と研究に取り組んでまいります。せき、たん、息苦しさ、胸のレントゲンの異常などでお困りの方は、どうぞお気軽にご相談ください。



呼吸器内科
宿谷 威仁



このたび、令和8年7月1日付で順天堂大学大学院医学研究科泌尿器科学講座主任教授を拝命いたしました。

私はこれまで、前立腺がんを中心とした泌尿器悪性腫瘍、ロボット支援手術、男性医学・性機能障害・排尿機能障害などを専門とし、診療・教育・研究に携わってまいりました。その経験を礎に、順天堂大学泌尿器科のさらなる発展と、地域医療への貢献に尽力してまいります。

泌尿器科は、がん診療、腎移植、排尿機能、男性医学、生殖医療、女性泌尿器科、高齢者医療など、多彩な専門領域を包含する診療科です。超高齢社会の進展や医療技術の急速な発展に伴い、泌尿器科に求められる役割はますます大きくなっています。

診療においては、ロボット支援手術をはじめとする低侵襲手術をさらに発展させ、安全性と根治性、機能温存を高い次元で両立する高度医療を提供してまいります。また、AIやデジタル技術を活用した診断・手術支援、臨床データの利活用を推進し、新たな医療の創出にも積極的に取り組んでまいります。

地域の先生方との連携は、大学病院の最も重要な使命の一つです。前立腺がん、腎がん、膀胱がんなどの悪性腫瘍をはじめ、前立腺肥大症、尿路結石、排尿障害、男性更年期、性機能障害など幅広い疾患に対し、専門性の高い医療を提供するとともに、診断・治療後は地域の先生方と緊密に連携し、切れ目のない医療を実践してまいります。ご紹介いただいた患者さんを安心してお任せいただける診療体制を整え、迅速かつ丁寧な診療と情報共有を心掛けてまいります。

今後とも皆様との連携を大切にしながら、地域医療に貢献してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

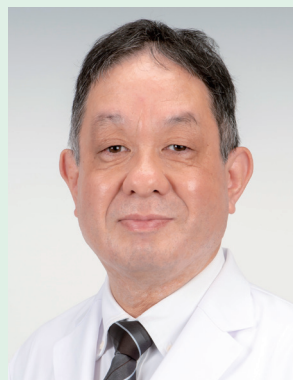


泌尿器科

井手 久満



2026年8月1日付で小児科学講座の講座内教授に就任いたしました。私は2006年4月から2014年1月まで同講座にて清水俊明前教授のご指導を賜り、その後は愛知医科大学小児科教授を務めてまいりましたが、この度12年半ぶりに復帰させていただくこととなりました。よろしくお願いいたします。



小児科・思春期科
奥村 彰久

小児科は東海林宏道主任教授のリーダーシップの下、新生児から成人期に達した患者さんまで、幅広い年齢の多様な疾患を対象としています。

学内には多彩なサブスペシャリティのエキスパートが多数在籍し、産婦人科や小児外科をはじめとする各科との連携も非常に活発で、子どもたちを包括的に診療できる体制が充実しております。お子さまにお困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

私の専門は小児神経学で、特にてんかん、新生児神経疾患、小児急性脳炎・脳症を軸に診療と研究を行ってまいりました。素晴らしい実績を上げている順天堂医院てんかんセンターの皆様とは、ぜひ共に研鑽を積ませていただきたいと考えております。また、若い頃からのライフワークである早産児の脳障害の克服に向け、新生児脳波を活用したより良い新生児管理の解明に取り組むとともに、黎明期から携わってきた小児急性脳炎・脳症における早期診断・有効な治療法の確立という課題にも引き続き挑んでまいります。

これまでの知識と経験を還元し、各科・各職種の皆様と力を合わせて順天堂医院の発展に貢献できるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



このたび、2026年8月1日付で順天堂大学大学院医学研究科下部消化管外科学講座の主任教授を拝命いたしました。歴史と伝統ある本講座を担う機会をいただき、大変光栄に感じるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

私はこれまで一貫して大腸癌、特に直腸癌の外科治療を専門として、診療・研究・教育に取り組んでまいりました。近年、腹腔鏡手術やロボット支援手術などの低侵襲手術が広く行われる一方、局所進行・再発直腸癌では、周囲臓器を含めた高度な手術が必要となることがあります。私は骨盤内臓全摘術や仙骨合併切除などの高難度手術にも積極的に取り組み、根治が難しいと考えられてきた患者さんにも治療の可能性を届けることを目指してきました。

一方、癌治療で大切なのは、単に「切除する」ことだけではありません。抗癌剤治療や放射線治療を適切に組み合わせ、治療効果を高めるとともに、可能な限り肛門、排尿、性機能などを温存し、治療後の生活の質を保つことも重要です。患者さん一人ひとりの病状や価値観を踏まえ、新しいエビデンスに基づいた適切な治療を提供したいと考えています。

順天堂大学下部消化管外科が培ってきた伝統と豊富な診療実績を大切にしながら、各診療科や多職種との連携をさらに深め、一般的な大腸癌から高度な治療を必要とする難治性大腸癌まで、安心して治療を受けていただける診療体制を築いてまいります。また、次世代を担う外科医の育成と臨床研究にも力を注ぎ、国内外に新たな知見を発信できる教室を目指します。

「仁」の心と「不断前進」の精神を大切に、患者さんにとってより善い医療とは何かを常に考え、教室員一同とともに歩んでまいります。大腸癌、特に治療が難しいといわれた大腸癌や再発でお困りの際にも、ぜひご相談ください。



大腸・肛門外科
上原 圭





赤ちゃんへの坐薬の使い方



坐薬とは

主に肛門や膣を通して投与されるお薬です。

お薬の効果を速やかに出したい、お薬を口から服用するのが難しい場合に適しています。

坐薬はお薬の有効成分と、坐薬の形を保つための成分である基材から成り、基材は油脂性基材と水溶性基材の2種類に分けられ、用いる基材によって特性が異なります。

油脂性基材の坐薬：体温で速やかに溶ける。 例）アンヒバ坐剤、アルピニー坐剤、ポルタレン坐剤

水溶性基材の坐薬：水に溶けやすく、体液に少しずつ溶け出す。 例）ダイアアップ坐剤、ナウゼリン坐剤

坐薬の使い方・コツ

①使用前はよく手を洗い清潔にする。

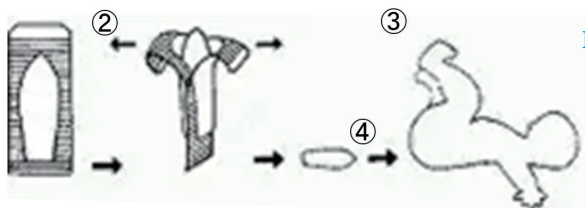
Point 冷所保管の坐薬は使用前に、坐薬を握る、冷蔵庫から出して10分程度置くなどして人肌まで温めておく。冷たい状態で入れると刺激になり便意を感じやすくなります！

②上の割れ目を割いて薬を取り出す。

Point 1/2個等、指示された量に坐薬を切る場合は、下図のように薬を取り出す前にシートごと切る。

③子供を仰向けに寝かせ、足を持ち上げる。

④先端のとがったほうを肛門の奥に入れ、しばらくティッシュで押さえる。



Point 坐薬の先にオリーブオイルやワセリンを塗り滑らかにすると入れやすいです！

坐薬の切り方

1/2個

2/3個

3/4個



Point ●の方向を先端にして使用してください！

薬を使う時の注意点について

①坐薬が出てきてしまったとき

手で持てる状態の時はすぐに入れ直してください。

10分以上経ってから排便などにより出てきた場合は、ある程度お薬が吸収されている状態です。1時間程度様子を見るようにしましょう。

②2種以上の坐薬を使用する場合

水溶性基材の坐薬を先に使用し、30分以上間隔を開けてから油脂性基材の坐薬を使うようにしましょう。

例）ダイアアップ坐剤と、アルピニー坐剤

→ダイアアップ坐剤の30分後にアルピニー坐剤を入れるようにしましょう。

先に油脂性基材の坐薬を使うと直腸内に油脂性の基材が残ります。そこに水溶性基材の坐薬を入れると、体に吸収されにくくなり効果が薄れてしまう可能性があります。

保管方法

油脂性基材の坐薬は体温で溶けるように設計されていますので、冷蔵庫で保管してください。水溶性基材の坐薬は室温での保管で大丈夫ですが、湿度が少なく、直射日光の当たらない場所に保管しましょう。

使い方でわからないことがありましたら、お気軽に薬剤師にご相談ください。



2026年度の体制について

前回のニュースでお知らせした通り、医療福祉相談室でお受けしている相談の7割は、退院に関する相談（リハビリテーション目的、療養目的の転院や介護施設への入所、自宅退院に向けての在宅医療や訪問看護の利用等）となっています。これは医療福祉相談室の所属する医療サービス支援センターで「退院支援チーム」を編成し、専従及び専任の看護師とソーシャルワーカーが協同して、患者さんの退院に関して支援を行っているためです。

2026年度より当院は「入退院支援加算1」の届け出を行い、入院当初から退院に向けて支援を開始できるような体制にいたしました。また、当院からの転院あるいは自宅退院の準備についても、地域の医療機関や行政機関、支援機関との連携の上で支援を行う体制となっています。「退院支援チーム」は病棟ごとに担当者を配置しております。退院後の生活についてのご相談をご希望の場合は、まずは担当医または病棟の看護師にその旨お声がけください。



栄養部ニュース



秋の「隠れ脱水」対策

夏の脱水は「大量の発汗」によって起こる分かりやすい水分喪失ですが、秋の脱水は「空気の乾燥」と「喉の渇きを感じにくくなること」によって、気付かないうちに進行するのが大きな特徴です。

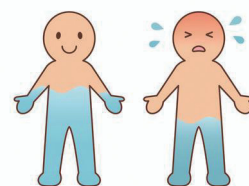
喉の渇きや体調不良などの明確な自覚症状が現れにくいいため、知らないうちに脱水が進み、重症化する危険があります。

体内の水分が不足すると、脳の働きが鈍くなり、集中力が低下することがあります。また、自律神経の乱れや脳の血流低下を引き起こし、感情や精神面にもさまざまな悪影響を及ぼすといわれています。

秋は湿度が下がるため、皮膚や呼吸を通じて体内の水分が自然に蒸発します。このように、汗をかかなくても水分が失われる「不感蒸泄」にも注意が必要です。喉の渇きを感じた時点では、すでに体内の水分は1～2%不足しているといわれています。そのため、こまめな水分補給を心がけましょう。

飲み物は、身体を冷やしにくい常温の水や白湯がおすすめです。また、カフェインを含む飲み物には利尿作用があるため、麦茶、ルイボスティー、黒豆茶などのノンカフェイン飲料を選ぶとよいでしょう。

日頃からこまめな水分補給を習慣にし、秋の隠れ脱水を予防しましょう。



**脱水症
予防**





看護師とともに、入院患者さんの「毎日」を支える担い手 ～介護福祉士のご紹介～

順天堂看護の歴史は、1873年、初代看護婦取締（現在の看護部長）に就任した杉本かねから始まりました。「看護婦取締」という響き、今年の朝ドラで耳にされた方も多いのではないのでしょうか。当時、ほんの数名から始まったとされる看護の手。それが今や、順天堂医院で1,300名を超える看護師へと受け継がれています。

そして、皆様の入院生活を支えているのは看護師だけではありません。お部屋を整え、検査への移動を車椅子でお手伝いする130名の「看護助手」、さらに2022年からは専門職である「介護福祉士」がチームに加わりました。

実は、病院で活躍する介護福祉士は、全国的にもまだまだ珍しい存在であり、全体のわずか4%ほどに過ぎません¹⁾。しかし、私たち看護師にとってはとても頼りになる存在です。介護福祉士は、お食事のサポートやおむつ交換、清潔ケアなど、患者さんお一人おひとりの状態に合わせた専門的なケアで、患者さんの「心地よい毎日」を支えています。特に、専門的な治療を受ける患者さんのお身体の状態に合わせたケアを行うためには、介護福祉士と看護師の密な連携が欠かせません。「患者さんが安心して過ごせる時間をつくり、ご家族にも安心をお届けしたい」——そんな思いは、今も昔も変わりません。



介護福祉士ユニフォーム

参考資料 1) 令和2年度介護福祉就労状況調査実施結果報告書・公益社団法人社会福祉振興・試験センター
https://www.sssc.or.jp/touroku/results/pdf/r2/results_03.pdf（閲覧 2026.8.26）



背骨へのがんでお困りではありませんか？ ～脊椎定位放射線治療という選択肢があります～

がんが背骨（脊椎：せきつい）に転移すると、背中に強い痛みや手足のしびれ、力が入りにくいなどの症状が現れ、日常生活に大きな支障をきたすことがあります。「痛みは仕方がない」と我慢して過ごしている方も少なくありません。

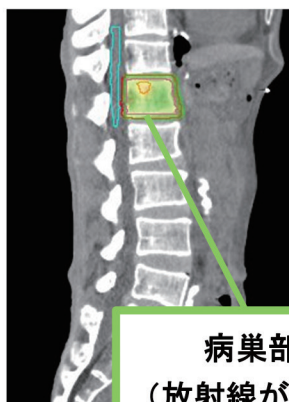
そのような患者さんに対して、脊椎への定位放射線治療（ピンポイント照射）という高精度な放射線治療を行うことがあります。この治療は、がんの位置を画像で正確に確認しながら、がんの形や大きさに合わせて放射線を集中的に照射する治療法です。通常の放射線治療よりも治療回数を少なくできるため、治療回数は2～5回程度です。また、がんにはしっかりと放射線を届けながら、まわりの正常部分への影響をできるだけ抑えられることも大きな特徴です。

背骨のすぐ近くには、放射線の影響を受けやすい「脊髄（せきずい）」があります。脊髄は脳と手足をつなぐ大切な神経です。そのため、脊髄をできるだけ守りながらがんの部分だけを正確に治療する高度な技術が必要です。脊椎定位放射線治療では、このような技術を活用することで、痛みの改善や、治療した部分のがんの増大を抑えることが期待されます。

当院では、医師をはじめ、看護師、診療放射線技師、医学物理士など、多職種が連携し、安全で質の高い放射線治療を提供できるよう努めています。一人ひとりの患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、チーム一丸となってサポートいたします。

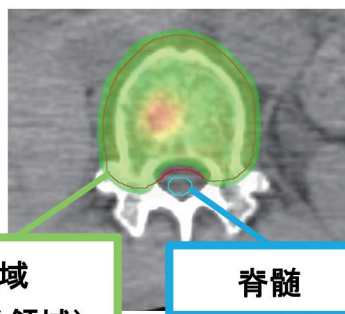
背骨へのがんの転移でお困りの方や、そのご家族・ご友人がいらっしゃる場合は、お気軽にご相談ください。「こんな治療法もある」ということを、一人でも多くの方に知っていただければ幸いです。

CT 画像：横から見た断面



病巣部の治療領域
(放射線が照射される領域)

CT 画像：輪切りの断面



脊髄



遺伝子関連検査とは ～信頼性のある検査結果報告のために～

遺伝子関連検査とは

遺伝子関連検査は遺伝子の情報を調べる検査であり、病気の診断や治療方針を決めるために行います。遺伝子関連検査は大きく3種類あり、①新型コロナウイルスやB型・C型肝炎ウイルスなどの病原体由来の遺伝情報を調べることで感染症を診断したり、②がん細胞などの異常な細胞にのみ生じる遺伝子の変化を調べ、一人ひとりに合った治療や薬を選んだり、③生まれつき持っている遺伝子を調べることで、遺伝性の病気の診断に使用されます。

このように遺伝子関連検査は、感染症からがん、遺伝性疾患まで、幅広く診療に役立っています。

臨床検査部で行っている遺伝子関連検査

当院の遺伝子検査室では、感染症、がん、遺伝性疾患など、さまざまな遺伝子関連検査を行っています。そのなかでも『ミトコンドリア病遺伝子パネルシーケンス』は、ミトコンドリア病に関係する複数の遺伝子を一度に調べる検査です。全国約170の医療機関から検査をご依頼いただいております。専門性の高い検査として、多くの医療機関の診療に活用されています。



信頼性のある検査結果を提供するために

遺伝子関連検査では、わずかな遺伝情報の違いを正確に見つけ、正しく評価することが大切です。そのため、検査の品質管理が重要です。

臨床検査部は、2016年に検査室の国際規格である「ISO 15189」の認定を取得し、現在も維持しています。この認定は、検査室の品質と技術力が国際基準を満たしていることを示すものです。

これからも正確で信頼性の高い検査結果をお届けし、患者さん一人ひとりの診療に貢献してまいります。

順天堂大学医学部附属順天堂医院

〒113-8431 文京区本郷3-1-3

TEL：03-3813-3111（大代表）

編集・発行 事務部 管理課
(2026年10月発行)

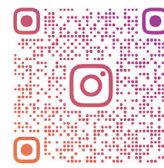


順天堂医院HP

メディカルノート
順天堂医院特集ページ



順天堂医院
公式 Instagram



JUNTENDOIIN